



広報

うまじ

第322号

令和3年12月1日発行



馬路村は
「日本で最も美しい村」
連合に加盟しています。



10月24日、馬路村民運動場において、馬路中学校3年生野球部員のお別れ試合として、馬路中学校野球部員に加えて、保護者、教員、チームゴクロー、青年野球部、馬路スポーツ少年団指導者ら有志の協力を得て、野球の交流試合が開催されました。

当日は、好プレーも出て、白熱した試合が繰り広げられ、参加者や応援者も野球を通じて楽しく交流する機会となりました。

ふるさとワーキングホリデー・ふるさとチョイスアワード	2
敬老の日	3
容器包装プラスチック分別・食品ロス問題	4
エバンコーナー	5
おらが村の学校便り㊼	6・7
議会だより	8~10

目次

令和2年度村の決算	11
地域おこし協力隊・保育所コーナー	12
中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会	13
お知らせ	14
村行事予定表	15
村内あちらこちら	16

ふるさとワーキングホリデー

今年も、11月のユズ収穫の人手不足を解消するため、ふるさとワーキングホリデー事業を実施しました。

県外から募集した8人のかたがたが2週間、1カ月の間村に滞在し、ユズの収穫等に従事しつつ、村民との交流や村の暮らしを体験しました。

参加者が少なく、受入農家の皆さまの要望に十分に応えることができない状況になってしまいましたが、受入農家からは「手が足りないのでワーホリのおかげで本当に助かってい



↑真剣に収穫にいそしみます

参加者からも、「受

入農家の方が優しくていい人ばかりでありがたかった」「最初は体がしんどくて、大丈夫かなと思っただけど、途中からは体が慣れて楽しく作業ができた」といった感想が聞かれました。

◎体験イベントの実施

参加者のかたがたに、収穫だけでなく村のさまざまなことを知っていただくため、間伐体験や森林鉄道体験、運転、魚梁瀬ダムの見学、ユズしぼり体験を実施しました。



↑慣れないノコギリに四苦八苦



↑森林鉄道の運転席で敬礼!

◎村民との交流会の実施

新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきていることを受け、受入農家等との交流会も開催しました。

初対面の方も多し中、大盛り上がり、交流会となり、参加者は田舎寿司等の料理にも大満足の様子でした。

◎今後の実施について

来年度の事業では、中山間地域等直接支払交付金を活用し、受入農家の負担を少なくできるような仕組みを予定しています。ユズ収穫の人手が不足している農家におかれましては、参加者の受け入れを改めて検討していただければ幸いです。



ふるさとチョイスアワード大賞受賞!



地域で頑張るヒトにスポットを当て、ふるさと納税に関して優れた事例を表彰する「ふるさとチョイスアワード2021」が10月16日(土)に開催され、馬路村が見事「ルーキー部門大賞」を受賞しました。

村では、新型コロナウイルス感染拡大の中、最前線で奮闘している医療従事者のかたがたへ感謝とエールを届けることはできないかと村内で声があり、事業所が中心となり役場と連携し、感謝とエールの気持ちを込めたオリジナルデザインの特産品を贈りました。この取り組みを基に、感謝の想いを伝え合うカタチの大切さを改めて実感し、ふるさと納税にのせて、多くの方にこのカタチを波及させていく取り組みを今年度よりスタートし、感謝をテーマにした返礼品を準備しました。



この事例を今年度からふるさと納税の担当となり、取り組みを進めている馬路村役場地域振興課の西川が発表。取り組みに対する想いや、今後の展望、馬路村の魅力などを力いっぱい発表し、結果、各部門の最優秀賞となる「大賞」を受賞しました。



審査員のかたがたからは、「ルーキーでありながら、感謝を軸に新しいことに挑戦しているところが素晴らしい」「寄附の本質である感謝の想いを大切にした、官民連携のモデルケース」と評価していただきました。

敬老の日



祝
ご長寿の
お慶びを
申し上げます

多年にわたり社会や地域に貢献された年配のかたがたに敬意を表し、ご長寿を祝すために開催してきた敬老会。式典の開催に向けて準備を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症の全国的な蔓延に加え、高知県内でも感染が拡大したことを受け、昨年に続き、開催をやむなく中止することになりました。

敬老会の開催を心待ちにされていた皆さまには大変残念な思いをさせることとなりましたが、皆さまの健康と安全を最優先に考え、中止の判断をさせていただきました。

そこで、村ではそれに代わるお祝いとして、お祝い弁当のお渡しと保育園児や小学生・中学生の演芸やお祝いメッセージを収録したDVDの上映をデイサービスセンターやあったかふれあいセン

お祝いDVDの上映



ターで行いました。
なお、本村の75歳以上の高齢者は、馬路地区179人、魚梁瀬地区34人、（令和3年4月1日現在で満年齢75歳以上の方が対象）うち現在本村にお住まいの方は、馬路地区146人、魚梁瀬地区33人、合わせて179人となっています。

ご長寿祝



祝 歳	祝 金額	対象者
喜寿（77歳）	一万円	13人
傘寿（80歳）	二万円	18人
米寿（88歳）	三万円	9人
卒寿（90歳）	五万円	10人
白寿（99歳）	十万円	1人

敬老の日に合わせて、節目の年にお祝い金をお渡ししています。本年度の対象者は次のとおりです。

祝 中屋ムネ子さん 100歳

敬老の日の記念行事として、今年度中に100歳を迎えられる高齢者の方に対し、内閣総理大臣からお祝い状と銀杯が贈呈されました。
本村では中屋ムネ子さんが対象となり役場にて贈呈式が行われました。
多年にわたり社会の発展に寄与されてこられたことに感謝するとともに、これからも健やかに過ごされることを心より願っています。



容器包装プラスチックの分別スタート!!

村では10月から容器包装プラスチックの分別をスタートしました。皆さまのご理解・ご協力により、きれいに分別されスムーズな収集ができています。

実際に容器包装プラスチックの分別を始めると改めて私たちの身の回りには多くのプラスチック製品が使われていることを実感されているのではないのでしょうか。

環境省の試算によると、容器包装廃棄物（缶・びん・段ボール・ペットボトル・プラスチック製容器包装）は容積比で家庭ごみの約6割、重量比で約3割と大きな割合を占めているとされています。これらの適切な分別・収集・再利用を実施することで、ごみの減量が期待できます。

資源の過剰消費やごみの排出によって生じる環境負荷は、現在の私たちの経済活動や生活環境に悪影響を及ぼすだけでなく、将来世代にも負の遺産を残すこととなります。世界ではプラスチックごみ削減のために、使い捨てストローやフオークなどの販売禁止などさまざまな政策が行われていて



容器包装プラスチックを出す際には

- 袋は口をしぼり、ごみ箱の中に入れてください。
- 内容物は使い切り、洗って乾かして出してください。

ご理解・ご協力をお願いします。

日本でもレジ袋の有料化が義務化されました。それが変わり、生分解性プラスチックや紙製のものが普及し始めています。私たちの社会を持続可能なものとしていくためには、資源を有効活用し、廃棄物をできるだけ少なくする循環型社会を実現していく必要があります。

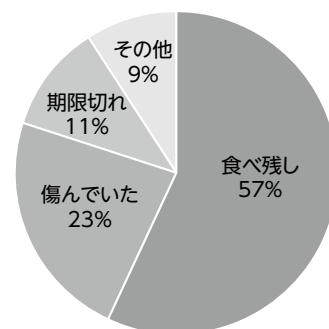
食品ロス問題とはなにか?～家庭でできる取り組みの紹介～

本来ならまだ食べられる食品を捨ててしまうことを「食品ロス」といいます。世界の人口の約9人に1人が飢餓に苦しむ一方で、食品の供給量を消費しきれない「食品ロス」が、日本を含む先進国で深刻な問題になっています。日本では年間約600万トンの食品ロスが発生していると言われています。これは国民一人が一日当たり約130g、茶碗1杯分のご飯を捨てていることになり、世界で飢えに苦しむ人への食糧援助量の1.4倍の量になります。

また、そのうちの約276万トンが家庭から出されており、半数以上が食べ残しとして廃棄されたものです（グラフ参照）。食べ残し、買い過ぎ、消費期限切れなど、これらの理由で食品を無駄にしていますか？家庭で食品ロスを減らすにはどのようなことができるのでしょうか？

- 必要な分だけ作る
- 必要な食品を必要な時に購入する
- 買い物に出かける前に冷蔵庫の中身を確認する
- 残っている食材から使う
- 「賞味期限」を正しく理解する。
「消費期限」は「食べても安全な期限」。「賞味期限」は「おいしく食べることができる期限」です。「賞味期限」が過ぎてもすぐに破棄する必要はありませんが、早目に食べきる。

など



家庭から出る食品ロスの割合

平成29年消費者庁調べ

食品ロス削減のため何よりも大切なことは、一人一人が食べ物を無駄にしないよう、日々心がけて過ごすことが重要です。捨てる食料を少しでも減らすにはどんな工夫をしたら良いのか、今回ご紹介した取り組みを参考に、家庭でできる方法をぜひ考えてみてください。

馬路村社会福祉協議会では、家庭で食べきれない食品などを生活に困窮する方へ提供する「フードドライブ活動」を行っています。米、レトルト食品、缶詰、調味料など、保存可能で食べきれない食品がありましたら、寄付をお願いします。

TEL：⑧42-1020



国際交流員：スカルディノ・エバン

エバンコーナー

馬路村に来てからもう2カ月間たったとは信じられません。それよりずっと長く感じます。やっと村の生活に慣れてきたということなののでしょうか。馬路村の景色はすごくきれいで、村民の皆さんはすごく親切で、とてもありがたいです。

—アメリカの感謝祭—

ありがたさといえば、アメリカの感謝祭が思い浮かびます。アメリカでは毎年11月の第4木曜日が感謝祭となっており、今年は11月25日でした。感謝祭の日にアメリカ人は友達や家族と集まって一緒に食事をしてお祝いをします。伝統的な食事として、コーン、豆、かぼちゃ、それにターキー（七面鳥）が多く、クランベリーやジャガイモなどの先住民の食べ物もよくでできます。

そしてアメリカ人にとって、感謝祭は祝日だけではなく、アメリカの神話の大切な一部でもあります。最初の感謝祭については、アメリカの始まりの物語でもあるとよく言われます。1620年に、イギリスから現在のマサチューセッツ州に宗教的自由を求めて移住してきたピルグリム・ファーザーズと呼ばれる入植者たちが、当初アメリカ大陸での作物の栽培方法が分からずに、大勢の死者がでました。その後、サモセトという英語ができる先住民と出会いました。サモセトの知り合いのティスクアンタムという先住民が農業に詳しかったので、先住民の農業方法をピルグリム・ファーザーズに教えてあげました。そしてピルグリム・ファーザーズは、先住民が大切にしていたコーン、豆、かぼちゃを植えるようになりました。秋がきて、作物を収穫できたことで危機を脱することができました。その感謝を表する目的で、ピルグリム・ファーザーズは収穫の祝いをすることにしました。ピルグリム・ファーザーズの50人、サモセト、ティスクアンタム、それに近くに住んでいた先住民人の90人が集まり、お祝いをしました。

このように、アメリカ先住民のサモセトとティスクアンタムのおかげで、イギリスからの入植者たちがアメリカで初めて生活ができるようになりました。この物語は神話ですので、どれくらい真実なのか分かりませんが、大切なのはアメリカ人にとってどういう意味があるかということです。この最初の感謝祭以降、いろいろな国からたくさんの貧しい移民たちがアメリカに来て、その人たちが民族、言語、文化が違っていても、お互いが助け合い、共に暮らし、よりよい生活を手に入れたことが、最初の感謝祭の物語の本質だと僕は思います。





おらが村の学校便り 74



村内小学生の修学旅行

馬路小学校と魚梁瀬小学校の5年生と6年生の22人が、10月13日から2泊3日で高知県西部へ行ってきました。

1日目

四万十市かわらつこ
四万十川カヌー体験

乗る前は心配だったけど、意外と乗れました。でも、速い流れでバランスが取れなくなつて派手に落ちてしまいました。



勝間沈下橋



ライフベストにヘルメット姿で「がんばるぞお！ おう！」

2日目

足摺岬めぐり

足摺岬灯台

足摺岬展望台



まるで沖縄のような柏島の海岸で「微小貝」を拾いました。

大月町柏島

直径2・3ミリの微小貝



微小貝をお母さんのお土産にしようと必死に拾い集めました。

足摺海洋館
SATOMI見学



竜串湾大水槽

黒潮町佐賀
天日塩づくり体験



不純物を取りのぞき名前入りのビンにつめるとお土産のマイソルト！



結晶ハウスの中で塩のかくはんと採塩を体験しました。

3日目

四万十町十和
ジップライン体験

スタート台



川舟で四万十川を渡り、全長220mのジップラインでもどってきました。すべりながら、川で釣りをしている人や山などが見えて楽しかったです。

海洋堂ホビー館見学

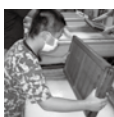


やったあ、ケンシロウに会えたあ！

いの町紙の博物館
手すき和紙体験



初めて紙をすきました。「すけた」がすごく重かったです。



村内中学生の修学旅行

馬路中学校と魚梁瀬中学校の3年生7人が、10月5日から3泊4日で小学生と同様に高知県西部へ行ってきました。



初めてゴルフに挑戦。難しかったけど、地元の方々も温かく接してくれたので、とても楽しかったです。

中土佐町
大正町市場
小串パークゴルフ場
黒潮本陣（泊）



ティラノサウルスだぞお！



佐川地質館

1日目



近くの工事現場で化石発掘。思いのほか簡単に化石が見つかりビックリ！

地質館では、高知県内の地形や地質について学びました。



足摺海洋館
SATOUMI

水族館の裏側に初めて入りました。生まれて間もない小さな生き物がたくさんいて、とても可愛かったです。

見残し海岸散策です。



グラスボート体験です。



土佐清水市竜串

2日目



少し酔いそうでしたが、そんな気分も吹き飛ばすほど魚を見るのは楽しかったです。

地形の特徴や魚の捕り方などを聞きながら、自然豊かな川と沈下橋のある風景を楽しみました。



四万十川
屋形船体験乗船

3日目



晩ご飯でマナー教室がありました。変に神経を使い過ぎて疲れ、朝までぐっすり眠りました。

新ロイヤルホテル四万十

四万十市安並運動公園



エコバッグにスタンプを押して自分だけのエコバッグを作りました。その後、「砂浜美術館」が開かれる砂浜へ出て記念写真を撮りました。



土佐西南大規模公園
ふるさと総合センター



砂浜美術館の浜から2時間半。気がつけば四国カルストという標高1400mの県境にいました。



四国カルスト

めっちゃ長いジップラインでは、魚梁瀬で見ているような山々を、いつもとは違う角度で眺めることができました。



津野町
フォレストアドベンチャー高知

4日目



新国立競技場を設計した隈研吾さん設計のホテルで宿泊。

橘原町マルシェユスハラ

議会だより

第166号

編集・発行
馬路村議会

9月定例会

令和3年9月定例会は、9月7日から10日までの4日間の会期で開催された。
7日は、行政報告等の諸般の報告に続いて、固定資産評価審査委員会委員の選任について同意。その後、健全化判断比率及び資金不足比率の報告と各議案の提案説明が行われた。8日は、議案精査のため休会。
9日は、4氏が一般質問し、議案の審議、採決を行い、令和2年度各会計決算の認定や条例の制定及び一部の改正、令和3年度各会計補正予算、意見書など7件の議案を可決し、会期を1日繰り上げて閉会した。

令和3年 第6回 定例会で議決された議案などの賛否一覧表

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 一：議長

	岡田元生	栢山民夫	山中隆	皆津由理	五味隆仁	岩城勝則	小松博	木下英年	結果
同意議案第1号	固定資産評価審査委員会委員の選任について(山崎惟男)								投票総数7票、有効7票、無効0票 賛成=7票、反対=0票
報告第1号	令和2年度馬路村の健全化判断比率及び資金不足比率の報告について								報告
認定議案第1号	令和2年度馬路村一般会計歳入歳出決算の認定について								認定
認定議案第2号	令和2年度馬路村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について								認定
認定議案第3号	令和2年度馬路村簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について								認定
認定議案第4号	令和2年度馬路村診療所特別会計歳入歳出決算の認定について								認定
認定議案第5号	令和2年度馬路村介護サービス特別会計歳入歳出決算の認定について								認定
認定議案第6号	令和2年度馬路村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について								認定
認定議案第7号	令和2年度馬路村小水力発電特別会計歳入歳出決算の認定について								認定
議案第1号	馬路村過疎地域持続的発展計画について								可決
議案第2号	馬路村サテライトオフィスの設置及び管理条例の制定について								可決
議案第3号	馬路村バンガロー及び採合橋の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について								可決
議案第4号	馬路村手数料徴収条例の一部を改正する条例について								可決
議案第5号	非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について								可決
議案第6号	馬路村税条例及び村税の徴収等の特例に関する条例の一部を改正する条例について								可決
議案第7号	馬路村道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について								可決
議案第8号	令和3年度馬路村一般会計補正予算(第4号)について								可決
議案第9号	令和3年度馬路村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について								可決
議案第10号	令和3年度馬路村簡易水道特別会計補正予算(第2号)について								可決
議案第11号	令和3年度馬路村診療所特別会計補正予算(第3号)について								可決
議案第12号	令和3年度馬路村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について								可決
議案第13号	令和3年度馬路村小水力発電特別会計補正予算(第1号)について								可決
意見書 議案第1号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について								可決

■9月3日
令和3年第6回定例会の
日程について
執行部提出予定の議案
等により会期を9月7日
から10日までの4日間と
し、8日は議案精査のた
め、休会とした。

議会運営委員会

委員会の活動報告



山崎 惟男 (73歳) 大字魚梁瀬
任期：令和3年9月10日から
3年間

●固定資産評価審査委員
会委員の選任について
山崎惟男氏を適任者と
して認め、再任に同意し
た。

人事

一般質問

一般質問には4氏が立ち、次のとおり質問を行った。

(質問趣旨、執行部答弁要旨)

岡田元生 議員

災害周知の方法及び県道迂回路の確保について

問 8月21日、長い大雨により安田町船倉で土砂崩れが発生し、県道が復旧未定の通行止めとなつた。幸い林道西谷朝日出線の通行ができ、建設中の明神口トンネルの通行もできることとなり、通常に戻すことができていた。復旧は未定であるが、放送だけは、村民の不安を大々的に解消した。新聞写真が載ったのは、状況がみんなよく伝わったと思う。スマートフォンのインタネットの時代なので、状況や復旧の見込みについて、写真なども用いてもう少し詳しく伝えてもらいたい。また、県道が通行止めとなる累加雨量200ミリメートルの後には、村としても迂回路となる線の安全運行ができるかどうかの点検と整備が必要だと考えるがどうか。

答(村長)

県道の災害時や工事の実施期間における迂回路の決定、災害復旧工事の工期、制限時間などは、道路管理者の高知県芸土木事務所が決定し、村は決定された内容の有線放送にてお知らせしている。災害直後の見通しは立たないときには「復旧は未定である」とお伝えし、その後の新たな情報も速やかにお知らせしている。しかし、災害の規模などは伝えきれない状況もある。今後、国のデジタル政策で道路状況の情報化も進んでいくのは、今後とも道路管理者との協議の上、例えば災害の延長や高さ等の情報も含めて、より丁寧な提供していく。また、県道の迂回路として活用できる道路は、平常時、異常気象時ともにしつかりと見回りを握るに努め、支障が生じないよう、緊急に各道路の状況を確認し、緊急性に考慮し、優先順位を付けていく。最大の対応をしていきたい。

新型コロナウイルスの感染予防対策の見直しについて

問 災害レベルで感染が猛威を振るっている。政府は緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象地域を33都府県に拡大しているが、毎回の感染者数や医療の逼迫などの具体的な目標値は示さずに終了期限を設定してきた。「もうロックダウンしかない」と知事や専門家が言うが、私権や制約できる法がない。現時点ではできない。ウイルスの変異により感染力のレベルは桁違いになり、若者や子どもの感染、家庭内感染が増加している。療養施設は限界を超え、重度でも受け入れが断られたり、軽症の感染者は自宅療養となる。ことが激増している。人流により本村にもウイルスが持ち込まれ、まん延することが危惧される。今、自治体に求められるのは、基本である3密の回避やワクチン接種・マスク着用・手洗い・消毒の徹底や、不要不急の外出をしないなどの人流対策の徹底である。政府の諮問会議の尾身会長は感染の増加を止めるため人流を半分以下にするため言をした。新学期となる子どもへの感染も心配されている。

答(村長)

命と健康を守るためには、感染予防策のさらなる周知と理解、協力の要請に努めることが必要だと考えられていることと、感染対策の見直しを

村では9月3日時点で65歳以上の接種対象者339人の92.0パーセントに当たる312人が、また12歳以上64歳以下の接種対象者433人の77.4パーセントに当たる335人が、村全体では対象者772人のうち647人、83.8パーセントの方が2回目のワクチン接種を終えている。そのためには、感染者発生の可能性は低くなっていると思われるが、気を緩めることなく今までの同様、マスクの着用、手洗いの、3密の回避等の基本的な感染防止対策を取っていただきたい。人流を抑える対策も必要であるが、これまで交付金を活用してあらゆる感染防止対策を講じて、環境づくりを進めてきている。それらをフルに活用しながら、今後、国や県から示される新型コロナウイルス感染症対応の目安などに注視しながら、注意喚起を行っていきながら、行動の制限の徹底にも御協力を願いたい。

栢山民夫 議員

魚梁瀬の維持について

問 魚梁瀬では、全校生徒16人中6人の生徒が山村留学制度を活用して通学している。保育所や小学校の存続や地域の活性化のためにもなくてはならない制度であるが、現在空いている住宅がなく、山村留學生の受け入れができなくなっている。ふるさと応援隊や会社などの新たな従業員の雇用もできない。新築を含めた住宅を確保することが、魚梁瀬地区の維持のため村長が必要であると思うが、村長の考えを聞こう。

答(村長)

魚梁瀬山の学校留学制度は、事務局を学校が引き受けるという当時としては画期的な制度として平成9年1月に始まり、これまで継続されている。学校の存続につながっている。また、地域全体が絡んだまさに地域活性化施策のよい手本だと捉えている。令和3年度は、当初予算と6月補正予算から補助金を交付し、山村留学希望者用に同実行委員会が借り上げていた住宅を修繕・活用していた。山村留学希望者やふるさと応援隊等のかたがたが、

利活用できるよう、魚梁瀬地区内にある国有林野事業用職員住宅の購入について、高知財務事務所や四国財務局に働きかけ、新住宅の建築にしている。村の定住施策の最重要課題として、引き続き取り組んでいく。予算には限りがあるので、行政と情報を共有し、連携して取り組んでほしい。

皆津由理 議員

村長の政治姿勢について

問 平成30年4月に山崎村長が就任され、3年5カ月目となった。村長は、「対話・学び・防災・暮らし」の4つをキーワードとして、村民のニーズに寄り添った安心感のある暮らし、農業・林業・観光業・商業・産業の振興、また人口減少に対する取り組みなど、多岐にわたる施策や目標を示されている。任期を残すところ半年あまりであるが、村政を振り返り、自身の思いや取り組みについて総括を問う。

答（村長）

私は、「対話」「学び」「防災」「暮らし」という4つのキーワードを基に政策を掲げて取り組みをしてきた。

「対話」については、各地区や各種団体等との意見交換会を実施し、そのことから政策につながったものもある。ただ、3年目を迎えたところからコロナ禍に入り、団体の代表者などとの少人数での意見交換会しかできなくなつた。コロナ禍を踏まえた新たな対話の方法を考えなければならぬと思っている。

「学び」については、できていない部分が多いにあり、反省している。昨今のコロナ禍における感染者に対する差別的な出来事等を振り返ると、学校教育及び社会教育を通じて、さまざまな人権教育を推進していく必要があると考えている。若者が自らチャレンジするきっかけづくりはできたとと思う。

「防災」においては、来る南海トラフ地震対策として、砂防堰堤等の危険箇所への整備が着実に進められている。県道安田東洋線では、念願の明神口トンネルの開通に向けた工事と、橋梁の耐震化等も進んでいる。個人住宅の耐震診断や耐震設計、耐震改修などへの啓発も行った。自主防災組織の資機材も充実したことで、コロナ禍でも工夫して、訓練を継続的に実施していきたい。

「暮らし」については、産業振興施策、移住者増加施策、馬路村集会センタースタッフの整備といった住民福祉の向上施策などに取り組んだが、コロナ禍の影響を大きく受けている。ここ2年は、特に観光・商工等の振興に苦戦をしているが、新型コロナウイルス感染症への対応も「暮らし」を守ることであり、対策に取り組んできた。

結果を表すものとして人口に注目すると、令和2年の国勢調査人口速報値は、平成27年の国勢調査人口に対し、76人、9.2パーセントの減少となっている。残りの任期も引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行うとともに、定住施策を強化すること、人口の減少に歯止めをかけ、豊かさを感ぜられる本村の暮らしを守っていきたい。

岩城勝則 議員

新型コロナウイルス感染の自宅療養者対応について

問 高知県は8月、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、施設療養の対応が困難になったとして、無症状や軽症者は自宅療養の方針にかじを切った。

本村での自宅療養者に対し、症状の確認や見守り、食料品や日用品の確保等の支援策をどう考えているのかを問う。

答（村長）

現在の高知市を中心とした感染者の急増を受けて、中等症以上の医療ケアが必要な方の病床確保の観点から、無症状や軽症者は原則として自宅療養とすることになった。その場合の手順としては、最初に安芸福祉保健所から生活上の注意事項の説明、指先など体に光を透過させることで動脈血の酸素飽和度を計測できる測定器「パルスオキシメーター」の貸与、1日に2回の電話による健康観察が行われることになった。また、高知県の委託業者からは必要に応じて食料品や日用品の配送がある。24時間対応の窓口で、医療が必要だと判断された患者は、安芸福祉保健所に繋がれ、オンライン診療か、緊急搬送とするのかなど対応が決定される。入院先の調整が行われる。さらに、自宅療養者の状態が急変し、入院が必要であると判断された場合は、原則として安芸福祉保健所が病院へ搬送する。緊急搬送のときは、安芸消防本部に健所から中芸消防本部に

連絡が入り、通常と同様に医療機関へ救急搬送する。新型コロナウイルス感染者への対応は、法律上、政令指定都市の高知市以外、市町村に業務はない。基本的にすべて高知県が行うこととなっている。村や中芸広域連合保健福祉課が関わることはない。しかしながら、村で自宅療養者が発生したときには、医療機関に搬送するまでの距離や時間を考慮し、高知県と協議の上、緊急処置が必要な場合には、本村の診療所でも対応することとしている。さらに、自宅療養者に家族がいて個室の確保を希望する場合には、村内のバンガローやログハウスの利用ができるよう、準備をしている。事例によって対応が異なると思われるが、その都度高知県と情報共有しながら取り組んでいきたい。

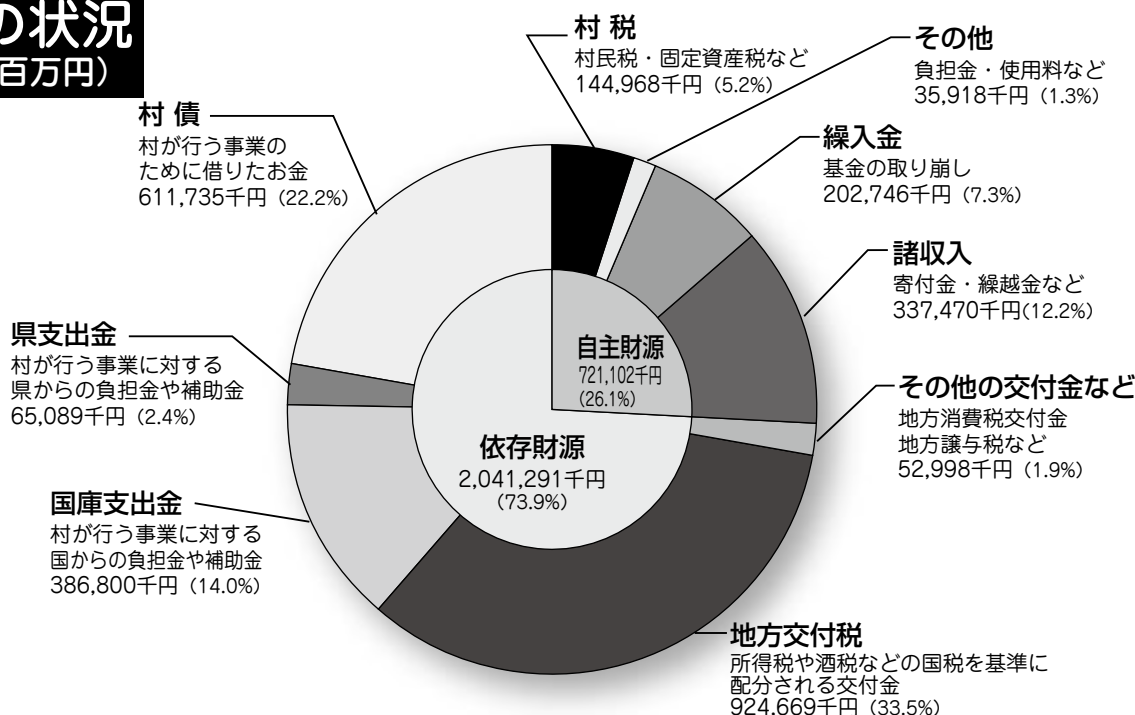
令和2年度村の決算

令和2年度の決算の状況をお知らせします。馬路村一般会計の歳入決算額は、2,762,393千円で、前年度2,304,888千円に比べ、457,505千円(19.8%)の増となっています。歳出決算額は、2,634,356千円で、前年度2,128,450千円と比べ505,906千円(23.8%)の増となっています。

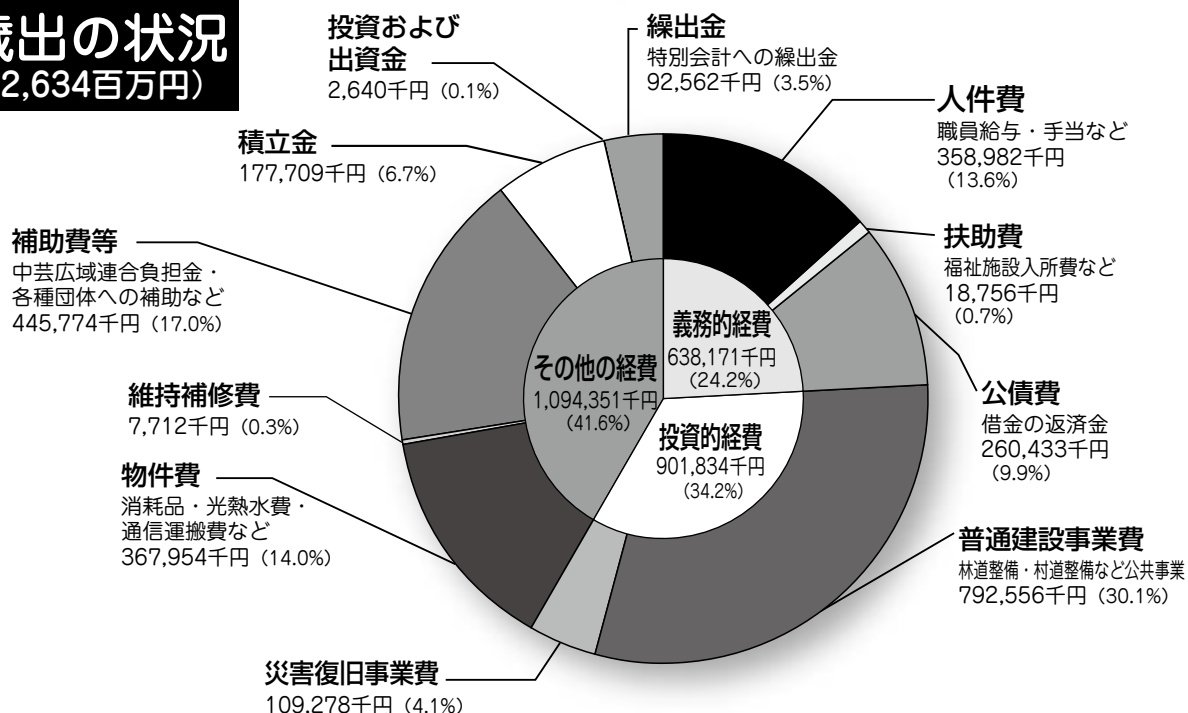
歳入歳出ともに増額となった主な要因は、馬路村多目的施設建築事業及び新型コロナウイルス感染症対策(経済対策・感染防止)関連によるものです。

令和2年度一般会計の歳入歳出決算額

歳入の状況 (2,762百万円)



歳出の状況 (2,634百万円)



地域おこし協力隊

やなせ

隊員 福岡 直也

魚梁瀬に移り住み、杉の家
の運営に携わりもうすぐ2年
今でこそ少しは慣れたけど、
最初はなかなか苦労する毎日
でした。

僕はただの料理好きから始
めたから、自分の好きな料理
以外は無知。料理の基本も知
らずに始めた当初は、奥さん
や魚梁瀬の姉さん方に教えて
もらいながら、少しずつコツ
を掴んでいく日々でした。

僕は料理でもなんでもじっ
くりのんびりやりたいし、そ
の方がうまくいくけど、やは
りお店となると時間も決まっ
ており、そうは言ってられず
速さも必要。2年やってきて

以前に比べると、少しは手も
早く動かせるようになったか
なあと。それでも日々思考錯
誤、発見の毎日です。

この2年間、僕が営業する
日は、日、月、火曜日の週3
日のみだけど、それでも日々
の営業で精いっぱい。家に帰
れば子育ても加わり余裕がな
いのが正直なところ。自分は
成長できているのか、地区の
人に喜んでもらえているのか
任期終了後はどうなるのかと
いろいろ不安になることもあ
るけど、日々一生懸命な奥さ
んのおかげで、息子は毎日こ
こに元氣。今はそれが全て
です。



▲息子が1歳になりました

キラキラと笑顔かがやくうまじっこ

馬路保育所

朝晩の寒さが際立ってきましたが、寒さにまけず園庭で元気に遊ぶ子どもたちが輝いています。
いっそう寒くなる冬に向け、たっぷりと体を動かし、心身ともに健康な体づくりを目指していきます。

4・5歳児室戸出張体験（10/7）

室戸少年自然の家で、アスレチックや草スキー遊び
をそう組（4・5歳児）が体験してきました。楽しく遊
ぶ中で、公共の施設を利用し、話の聞き方やマナー
などを学ぶ良い体験になりました。11月には、魚梁
瀬と馬路保育所の年長児が室戸の出張体験に参加し
ます。



お芋ほり（10/27）

芝真男さんの畑でお芋ほりをさせて
もらいました。

「おじいちゃんこ掘って〜！」とい
うリクエストにも優しく応えていただ
き、たくさんのお芋を収穫することが
できました。

あたたかい
ふれあいの場
となったお芋
ほり！ありが
うございま
した！



ハロウィン（10/29）

今年度もたくさんの方に
「トリック オア トリート！」と声をかけ、
いたずらをする代わりにお菓子を頂きました。
あたたかい眼差し、優しいお気持ちをたくさん
ありがとうございました！

子どもたちが大好きな行事♡

来年もどうぞよろしくお願ひします♪



日本遺産ガイド養成講座【日程変更】のお知らせ

当初は9月スタートの予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により日程を変更しました。

平成29年度に、文化庁が地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを認定する「日本遺産」に高知県東部の中芸5町村のストーリー「森林鉄道から日本一のゆずロードへゆずが香り彩る南国土佐・中芸地域の景観と食文化」が認定されました。

このたび、中芸5町村を通し、ストーリーを語る上で欠かせない構成文化財をワークショップ形式で学び、地域の活性化を図ることを目的としたガイド養成講座を開催いたします。全5回の講座のうち、4回目または5回目の講座を含む3回を受講していただいた方には修了証を発行いたします。多くの人々にそれを伝えてみたい、歴史や文化に興味のある方、ガイドをしてみたい方の参加をお待ちしております。

- 主 催：中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会
- 受講料：無料
- 講師：溝渕 博彦氏(株式会社 AREA 代表取締役・高知文化財研究所代表)
- 開催会場：奈半利町・安田町(会場定員 20～30 名程度)

講座の日程および内容

番号	日	時間	会場	テーマ/内容
1 回 目	12/4 (土)	13:30～16:30	奈半利町町民会館(2Fホール)	日本遺産と地域の活性化 ①日本遺産とは何か、文化財の活用と保存 ②各班で講座概要説明・自己紹介 ③各町村ガイドコース計画・各班の計画発表
2 回 目	12/25 (土)	13:30～16:30	中芸広域体育館(第2会議室)	地域の魅力と観光ガイド ①地域の魅力をガイドで発信 ②各班で1時間のコース計画とガイドポイント ③各班ごとの各自5分トークガイド
3 回 目	1/8 (土)	13:30～16:30	安田町文化センター(1Fホール)	ガイド組織とSNS 連絡網 ①スマートフォンによる SNS 活用 ②各班ごとの LINE 活用練習 ③各班での連携構築と連絡練習
4 回 目	1/29 (土)	13:30～16:30	中芸広域体育館(第2会議室)	日本遺産 48 の構成文化財 ①日本遺産 48 の文化財内容 ②各班ごとの全体コース別(1日)文化財ガイド練習 ③ガイドポイント画面を背景に各自1カ所5分ガイド
5 回 目	2/26 (土)	13:30～16:30	中芸広域体育館(第2会議室)	観光地域づくりと地域経済 ①観光地域づくりと地域組織の連携 ②日本遺産1日コースのガイド練習 ③ガイドポイント画面を背景に各自1カ所5分ガイド

申込・問い合わせ：中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会事務局
(中芸広域体育館内) Tel: 0887-30-1865
Mail: yuzurintetsu@mk.pikara.ne.jp
HP: <http://yuzuroad.jp/> 「ゆずとりんてつ」で検索



お知らせ

令和3年度 自衛官等採用案内

自衛官候補生		
任期制自衛官のコースで、任期終了後は民間企業へ就職、または、継続して選抜試験に合格すれば昇任して「曹」に進むことも可能です。		
資 格	受付期間・試験日	備 考
採用予定月の1日現在 18歳以上33歳未満の者 32歳の者は、採用予定月の1日から起算して3月に達する日の翌月の末日現在、33歳に達していない者	受付:年間を通じて実施 第6回採用試験:12月12日(日) 第7回採用試験:1月16日(日)	身分:特別職国家公務員(自衛隊員) 宿舍:無料、食事:支給(無料) 週休2日制、祝日、各種休暇あり 初年度所得:約260万円～ 任期満了時:特例退職手当支給

陸上自衛隊 高等工科学学校生徒		
普通科高校と同等の一般教育、自衛隊の各種技術の専門教育、陸上自衛官として必要な防衛基礎学を主な教育として受けます。3学年修了時には、提携している神奈川県立修悠館高等学校(通信制)の卒業資格を取得することができます。		
資 格	受付期間・試験日	備 考
令和4年4月1日現在 15歳以上17歳未満の男子 令和4年3月に中学校卒業又は中等教育学校の前期課程修了見込みの者を含む。	受付:11月1日(月)～ 令和4年1月14日(金) 第1次試験 令和4年1月22日(土)	身分:特別職国家公務員(生徒) 手当:生徒手当 月額103,700円 (令和3年1月1日現在) 宿舍:無料 食事:支給(無料) 週休2日制、祝日、年末年始休暇等

☆状況により、試験日が変更される場合があります。

☆詳しくは、自衛隊高知地方協力本部のホームページをご覧ください。

自衛隊高知地方協力本部 安芸地域事務所までご連絡ください。

Tel: 0 8 8 7 - 3 5 - 2 7 4 9

E-mail: kochi.pco.aki@rct.gsdf.mod.go.jp

行政相談活動で感謝状が贈られました

令和3年10月8日(金)馬路村役場において、行政相談委員の大野美智子さんに地域総括評価官(在高知行政監視行政相談センター)から感謝状が贈呈されました。この感謝状は、国や県、市町村などに対する苦情や要望の解決、実現に尽力した功績に対して贈られたものです。



12月・1月 むらの行事予定



12 月		
1	水	校内持久走大会(馬路小学校) 乳児健診(奈半利町防災センター)
2	木	
3	金	校内持久走大会(魚梁瀬小・中学校)
4	土	馬路熊野神社秋の例大祭・神楽発表会・こどもみこし祭り 安芸地区中学校新人球技大会(～11日)
5	日	
6	月	
7	火	ペタンク大会(魚梁瀬) 有害物収集
8	水	
9	木	
10	金	人権相談所(馬路村集会所センターうまなび) 10:00～15:00 行政相談所(馬路村集会所センターうまなび) 10:00～12:00 古紙収集(魚梁瀬)
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	リサイクル収集
15	水	餅つき(馬路保育所) 1歳6カ月児・3歳児健診(奈半利町防災センター)
16	木	巡回図書(魚梁瀬多目的施設) 11:10～11:50 ふれあい餅つき(魚梁瀬小・中学校)
17	金	
18	土	
19	日	第49回馬路村文化祭(～22日)・馬路村ふれあい祭り (馬路村集会所センターうまなび)
20	月	
21	火	「総合的な学習・探究の時間」中芸地域中高合同発表会 (田野町ふれあいセンター)
22	水	国保健康教室(馬路村集会所センターうまなび) 18:00～19:00
23	木	
24	金	村内4校終業式 クリスマス会(馬路保育所) 古紙収集(馬路)
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	リサイクル収集
29	水	
30	木	
31	金	

1 月		
1	土	新春走り初めピットリタイムレース(魚梁瀬) 元日
2	日	新春走り初めピットリタイムレース(馬路) 成人式(魚梁瀬多目的施設)
3	月	
4	火	有害物収集
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	成人の日
11	火	村内4校始業式 リサイクル収集
12	水	国保健康教室(馬路村集会所センターうまなび) 18:00～19:00
13	木	乳児健診(奈半利町防災センター)
14	金	古紙収集(魚梁瀬)
15	土	どんど焼き(丸山公園)
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	国保健康教室(馬路村集会所センターうまなび) 18:00～19:00
20	木	
21	金	巡回図書(馬路村集会所センターうまなび) 10:40～11:30
22	土	第39回馬路村村民駅伝競走大会
23	日	
24	月	
25	火	リサイクル収集 馬路中学校体験入学
26	水	1歳6カ月児・3歳児健診(奈半利町防災センター)
27	木	
28	金	古紙収集(馬路)
29	土	杉の子発表会(魚梁瀬小・中学校)
30	日	
31	月	

人 口 月中異動	増 加				減 少				月末現在 人口合計
	出生	転入	職権	計	死亡	転出	職権	計	
10月	0	1	0	1	1	2	0	3	836
11月	0	0	0	0	1	1	0	2	834

馬 路 675人、331世帯
魚梁瀬 159人、92世帯
(外国人含む)

馬路村特別村民 11,914人
(11月30日現在)



村内あちらこちら



10月16日 魚梁瀬熊野神社秋の例大祭



10月16日 魚梁瀬古式弓射式（丸山公園）



10月20日 馬路地区スカッシュバレー大会（馬路体育館）



10月27日 馬路村小・中学校合同学習会（魚梁瀬小・中学校）



11月3日 うまじジャズコンサート（馬路村集会センターうまなび）

村のできごと

10月

- 5~8日 馬路・魚梁瀬中学校合同修学旅行
- 13~15日 馬路・魚梁瀬小学校合同修学旅行
- 16日 魚梁瀬熊野神社秋の例大祭
魚梁瀬古式弓射式（丸山公園）
- 19日 秋のおもてなし一斉清掃
- 20日 馬路地区スカッシュバレー大会（馬路体育館）
- 22日 自伐型林業講演会（馬路村集会センターうまなび）
- 24日 馬路中学校野球交流試合（馬路村民運動場）
- 27日 馬路村小・中学校合同学習会（魚梁瀬小・中学校）
- 28日 馬路森林鉄道安全祈願祭

11月

- 1・2・4日 馬路・魚梁瀬中学校職場体験学習
- 3日 うまじジャズコンサート（馬路村集会センターうまなび）
- 5日 起震車体験（魚梁瀬小・中学校）
- 9日 秋季ビーチボールバレー大会（魚梁瀬体育館）
- 18日 馬路中学校ゆず取りボランティア

編集後記

秋といえば、いろいろと秋を表現する言葉があります。年を重ねるごとに私に重く響く言葉がスポーツの秋です。運動することは好きですが、なかなか自分から行動できずにいます。これからは、健康のために体を動かすことを心掛けていきたいと思っています。

（大）

編集発行 ▶ 馬路村教育委員会

住所 〒781-6201 高知県安芸郡馬路村大字馬路443
TEL 0887-44-2216 FAX 0887-42-1010
E-mail umaji-v@kochinet.ed.jp

印刷 ▶ 株式会社 高知新聞総合印刷